

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24226020	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	多階層複雑・開放系における粒子循環の物理とマクロ制御	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	関子 秀樹 (九州大学・応用力学研究所・教授)

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究では、核融合炉の定常運転に不可欠な、燃料粒子循環制御を確立するための基盤となる、粒子循環モデルの理論的な整備が進んでいる。また、粒子挙動解析法を開発することにより、モデルを多階層複雑系・開放系に適応させる準備が整っている。高温壁を用いた実験準備にやや遅れが発生したが、今後、その実験を加速させ、各複雑系の相互作用を検証することにより、研究目的の達成が望まれる。成果の公表も順調に行われているが、今後、ウェブ等を活用した積極的な対応が期待される。